

事務事業名	特定環境保全公共下水道整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	整備維持グループ	課長名	須田 弘
	施策名	(11)下水道の整備	担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4610
	目的:対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らすことができる。	予算科目	会計 252501 大東町地区特環施設整備事業 大東町地区特環施設整備事業
	基本事業名	(030)下水道整備の推進	意図	下水道に接続できるようにする。	項目	中事業 151001 大東町地区特環施設整備事業 中事業 151001 大東町地区特環施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (16 年度～ 30 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
(大東処理区) 計画処理区域面積 104ha 計画区域内人口 2,900人 終末処理場 1箇所 計画処理能力 1,700m ³ /日(2池)
(加茂処理区) 計画処理区域面積 101ha 計画区域内人口 2,300人 終末処理場 1箇所 計画処理能力 1,290m ³ /日

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 管路工 L=133m 業務委託:1式(大東浄化センター) 業務委託:1式(加茂浄化センター)	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 大東地区 管路工 L=150m 処理場 機械・電気設備(増設)一式 加茂地区 機械設備更新(加茂)			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	管渠工	m	770	2,005	133	150
イ	処理施設工	箇所	0	0	0	1
ウ	中継ポンプ	箇所	2	0	0	0
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	大東特環公共下水道地域内の住民、営業所等	ア	処理(整備)人口	人	5,266	5,571	5,615	5,650
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
対象区域内すべての宅内排水を下水道へ接続し、汚水処理を行えるようにする。	ア	接続人口	人	3,690	3,802	4,196	4,296	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
委託料 16,836千円	財源内訳	国庫支出金	千円	70,000	80,100	12,100	54,600
工事請負費 7,371千円		県支出金	千円				
その他経費 275千円		地方債	千円	58,400	81,700	1,200	54,400
計 24,482千円		その他	千円	13,221	9,634	9,002	2,300
(大東地区 18,476千円)		一般財源	千円			2,180	
(加茂地区 6,006千円)	事業費計(A)	千円	141,621	171,434	24,482	111,300	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	930	780	300	
		人件費計(B)	千円	3,616	3,075	1,175	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	145,237	174,509	25,657		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
合併前の大東町及び加茂町が採択を受けた。合併後下水道課が事業継承し、H17年度より汚水処理施設整備交付金事業へ、H22年度からは社会資本整備総合交付金へと転換した。	大東町地区においては、大木原土地区画整理事業、都市計画道路の改良に合わせ施工することで、経費を縮減した。	早期完成が望まれている。

事務事業名	特定環境保全公共下水道整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	-----------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業採択時の事業計画に基づき計画区域を設定し、汚水処理施設規模を設定しており成果の向上余地はない
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	近傍に類似事業が無いため、統廃合・連携はできない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	必要最低限の人員及び業務時間で業務を行っているため人件費の削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		

評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	面的整備はほとんど完了した。	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		●	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		●																		
	低下	×	×																		
他事業(新庄飯田線改良工事)との関連で、白地部分の解消をする。 雲南病院の改築に合わせ汚水量増加に対応するため、2池目の機械電気設備を整備をする。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。																			